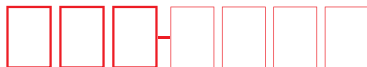




郵便はがき



株主通信

第12期上半期

自平成25年4月1日 至平成25年9月30日



株式会社ジューダット <証券コード:3841>

株主名簿管理人 事務取扱所

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4

電話お問合せ先 0120-288-324 (フリーダイヤル)

中面にお知らせがあります。万一ぬれている場合はよく乾かしてからご覧ください。

株式数及び株主数 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	7,800,000株 ^{※1}
発行済株式総数	1,950,000株 ^{※2}
株主数	534名

※1 平成25年2月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で株式分割に伴う定款の変更が行われ、発行可能株式総数は7,722,000株増加し、7,800,000株となりました。

※2 平成25年2月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合での株式分割を実施いたしました。これにより、発行済株式総数は1,930,500株増加し、1,950,000株となりました。

株主メモ

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場(スタンダード) ^{※1}
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当基準日	3月31日
株式の売買単位	100株 ^{※2}
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告とし、次の当社ホームページに掲載します。 http://www.jedat.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

※1 平成25年7月16日の大阪証券取引所と株式会社東京証券取引所との現物市場統合に伴い、当社は同日において、東京証券取引所 JASDAQ市場(スタンダード)での上場となりました。

※2 平成25年2月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合での株式分割を実施し、100株を1単元とする単元株制度を採用しております。

会社概要

商号	株式会社ジューダット(Jedat Inc.)
所在地	〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル
代表者	代表取締役社長 河内 一往
営業開始	平成16年2月2日
資本金	760,007,110円
事業内容	電子回路・半導体集積回路・液晶モジュール等設計支援のためのソフトウェア開発・販売及びコンサルティング
関連会社 ^{※1}	績達特軟件(北京)有限公司(Jedat China Software Inc.) 北京市西城区新街口外大街28号B座409-412室 URL http://www.jedat-soft.com.cn 愛績受(上海)信息科技有限公司(AJM Technology(Shanghai) Co., Ltd.) ^{※2} 上海市肇嘉浜路1065号 飛龍國際大廈2303室 URL http://ajm-tech.com/index.html

※1 当社は、平成24年12月20日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月1日を効力発生日として、株式会社ジューダット・インベーションを吸収合併いたしました。

※2 当社は、平成25年3月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年6月1日に特定子会社、愛績受(上海)信息科技有限公司を設立いたしました。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社企業グループに格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。平成26年3月期上半期の業績をご送付申し上げます。

当社企業グループの主要顧客である国内半導体・FPD (Flat Panel Display) 等の電子部品業界は、従来から好調な自動車やスマートフォン関連以外の分野でも、一部で業績回復の兆しが徐々に散見されるようになっております。しかしながら、業界全体の傾向としては業界再編やリストラの断行なども続いており、先行きはまだまだ不透明な状況であります。

このような状況の中で当社企業グループは、国内市場において、好調な分野であるパワー半導体、イメージセンサ、タッチパネル、高精細FPD等に向けた設計支援・解析ツールをメインに営業活動を展開し、またソリューション・ビジネスを立上げ、自動車業界向けを中心に順調に活動してまいりました。海外におきましても、新製品の国際的展示会への出展や、上海に販売子会社を設立するなど、積極的な販売活動を実施いたしました。

これらの活動の結果、前連結会計年度から継続していた商談をいくつか獲得し、海外においても大型商談を獲得した結果、売上高は、前年度から18.8%増加して6億81百万円、営業利益は固定費圧縮および自社製品売上増の効果も加わり、37百万円となりました。また助成金等もあって経常利益は47百万円となり、当初の計画を大幅に上回る業績となりました。

当下半期においても当社は、依然楽観視できない事業環境に置かれるものと思われませんが、上半期に引き続き、売上に貢献するビジネスモデルを確立し、当初計画の達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいりたいと存じます。

株主の皆様には引き続き、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 河内 一往

第2四半期累計期間 セグメント別売上高 (単位:百万円)

	平成25年 3月期	平成26年3月期			
	実績	計画	実績	前年同期比	計画比
製品	277	335	381	+ 37.4%	+ 13.9%
サービス	296	319	300	+ 1.3%	△ 5.8%
半導体市場	306	343	346	+ 13.2%	+ 1.0%
FPD市場	267	310	334	+ 25.2%	+ 7.8%
自社開発製品	508	575	594	+ 16.8%	+ 3.3%
代理販売製品	65	78	87	+ 33.9%	+ 11.4%
売上高合計	573	654	681	+ 18.8%	+ 4.3%

財務ハイライト (単位:百万円)

